

アドベンチャーtravel・ワールドサミット（ATWS）開催に伴う JR北海道の取り組みについて



2023年7月12日

■ AT (Adventure Travel) とは・・・

「自然」・「異文化体験」・「アクティビティ」の3つの要素のうち、2つ以上で構成される体験型の旅行形態。欧米豪の富裕層を中心に拡大し、長期滞在も行うことから、1人当たりの観光消費額は通常旅行者の約2倍。市場規模は70兆円を超えるとされる。

■ ATが志向する旅行形態

ATでは、「ユニーク体験」「自己変革」「健康」「挑戦」「ローインパクト(※)」「地域貢献」といった価値が重視され、これまでのマスツーリズムとは一線を画した、ポストコロナの高付加価値、サステナブルな旅行形態としても注目されている。「Adventure (冒険)」からイメージされる危険でハードなアウトドアの旅ではなく、例えば、その地域特有の自然、文化、歴史、産業、生活などに関するさまざまな体験素材が、ATの素材になりうる。

(※) 体験にあたって、文化や自然に対してインパクトを最低限に抑えられると感じられること

■ ATWSの開催

2023年9月11日～14日 札幌にて開催 (アジアでのリアル開催は初)

ATの国際的な団体ATTA (※) が主催する世界最大のATイベント。過去の大会では約60カ国から800名が参加。

(※ 「Adventure Travel Trade Association」の略)

ATの3要素



■ ATに対するJR北海道のスタンス

ATの「サステナブル」「ローインパクト」「地域貢献」といったコンセプトが、鉄道＝環境に優しい交通機関、地域貢献、持続可能な交通体系の維持といった弊社の目指す方向性とも合致するところから、その趣旨に賛同し、ATWSへの協力・北海道におけるATの推進に取り組みます。

■ ATWS開催に向けた取り組み

トップパートナーとしてATWSの機運醸成

- ① 期間中の移動にKitaca(弊社交通系ICカード) を利用予定
- ② 車内誌 (「The JR Hokkaido」) でATWSの開催告知
- ③ 札幌駅のデジタルサイネージでATのPR映像の放映



「ATWS2023」
←トップパートナーズ発表会
(2023.6.6)



「The JR Hokkaido」
8月号掲載予定広告→



札幌駅改札口前のデジタルサイネージ

■ ATWSで実施される鉄道利用ツアー

鉄道は、環境への負荷が比較的少なく、サステナブルで環境に優しい交通機関であることから、ATでは利用を推進しています。今回のATWSのなかでも、PSA（プレサミット・アドベンチャー）やDOA（デイ・オブ・アドベンチャー）で多くのご利用をいただきます。

鉄道利用 PSA（※1）コース一覧（道内） 道内PSA全15コースのうち10コースが鉄道利用

出発日・日数	ツアータイトル	実施事業者名
9月5日 6日間	大雪山周遊 ～5泊6日ハイキングツアー	(株)北海道宝島旅行社
9月6日 5日間	マチネシリトレッキング・ワイルドサイクリング Discover the volcano of east Hokkaido	(株)JTB
9月6日 5日間	洞爺湖から日本海へ ～ガイド付きサイクリングツアー	(株)北海道宝島旅行社
9月7日 4日間	日本文化伝承の北前船、道南の要所を巡るサイクリングツアー	近畿日本ツーリスト(株)
9月6日 5日間	日本最北の地を目指して 上川・宗谷 カヌーとサイクリング	ANA X (株)
9月7日 4日間	火山が造った箱庭・大沼カヌーツーリング～カヌー & 農山漁村交流	(株)北海道宝島旅行社
9月6日 5日間	日本最北の離島4泊5日ハイキングツアー	(株)北海道宝島旅行社
9月6日 5日間	大雪山国立公園唯一の自然湖「然別湖カヤック&トレッキング」	(株)日本旅行北海道
9月5日 6日間	ザ ワイルドフライフィッシング イン イースト北海道	(株)JTB
9月4日 7日間	道東の三国立公園を巡るワイルドライフ探索ツアー7日間	(株)北海道宝島旅行社

鉄道利用 DOA（※2）コース一覧 DOA全31コースのうち9コースが鉄道利用

出発日	ツアータイトル	実施事業者名
9月11日 日帰り	ゼロカーボンパーク支笏湖 苔の回廊ハイキングとクリアカヤック	(株)ノース・スター・トラベル
9月11日 日帰り	港町小樽で海と断崖の絶景トレッキング	(株)エゾシカ旅行社
9月11日 日帰り	北海道開拓から続く歴史と産業をめぐる北広島サイクリング	近畿日本ツーリスト(株)
9月11日 日帰り	JOMONを感じる清流 千歳川 Canoe ride on the riverside	(株)ノース・スター・トラベル
9月11日 日帰り	積丹ブルーを体感！マリンアドベンチャー&絶景ハイキング	(株)JTB
9月11日 日帰り	大雪山国立公園唯一の自然湖「然別湖カヤック又はバーウオッチング」	(株)日本旅行北海道
9月11日 日帰り	ニセコ 尻別川ラフティングツアー	ANAX(株)
9月11日 日帰り	十勝で日本の伝統的なテング釣り	(株)日本旅行北海道
9月11日 日帰り	岩宇地区 100年変わらない山と海の暮らし体験ツアー	(株)JTB

(※1) PSA : Pre-Summit Adventuresの略。ATWSの開催前に行われるAT体験ツアー。参加は任意。

(※2) DOA : Day of Adventureの略。ATWS初日に行われるAT体験ツアー ATWSの参加者全員参加。

(写真 : ATTA HPより)



鉄道を利用した“AT”の一例

■ 「特急ニセコ号」を利用した“Day Of Adventure”コース

9/11

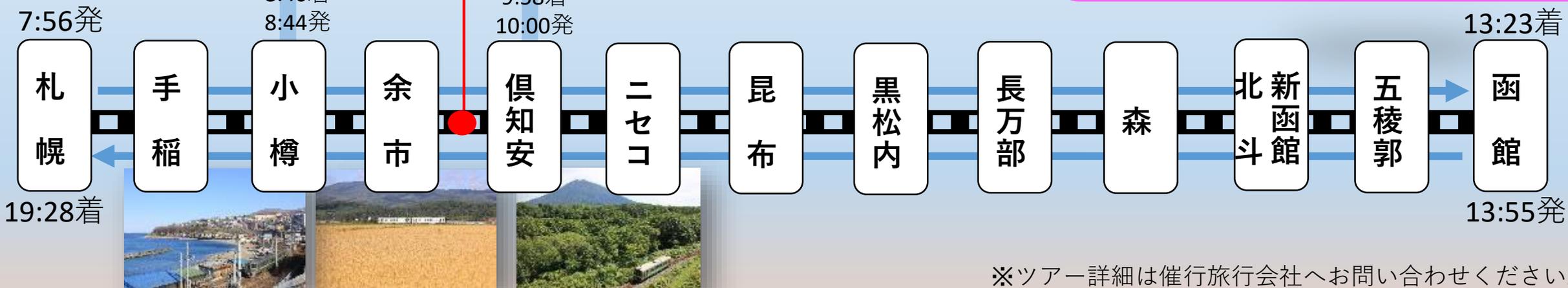
ATWS開催に合わせて
小沢駅に臨時停車

- 積丹ブルーを体感 マリンアドベンチャー&絶景ハイキング
- 岩宇地区100年変わらない山と海の暮らしツアー

小
沢

- ニセコ尻別川ラフティング
- 港町小樽で海と断崖の絶景トレッキング

○ 運転日：9/2-4,7-11,14-18,22-24



※ツアー詳細は催行旅行会社へお問い合わせください。

■ 今後のAT推進のポイント

① 単価の高いATの富裕層の取り込み

長期滞在のAT層をターゲットにした利用期間の長い10日間用レールパスの設定検討
（現在、道内利用限定のレールパスの最長期間は7日間）

② AT素材に資する鉄道素材の活用（例）

道東エリアの「自然」

○ 3つの国立公園と世界遺産が沿線
に広がる釧網線

○ 「ここにしかない」別寒辺牛湿原や落石
海岸の絶景 花咲線

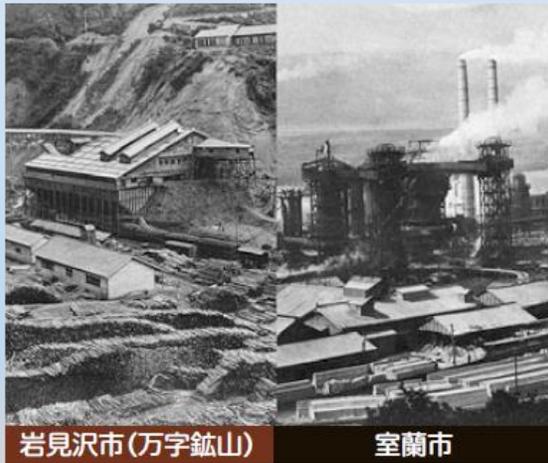


③ATに資するテーマ性の高いコンテンツと鉄道を組み合わせた素材の提供（例）

産業資源・文化資源の活用

○炭鉄港

北海道の近代化を支えた空知の「石炭」
室蘭の「鉄鋼」小樽の「港湾」。それら
を繋いだ「鉄道」「駅」をトリガーに北
海道の近代化をたどる歴史体験。



○北東北・北海道縄文遺跡群 （世界遺産）

縄文時代の遺跡群で、道央～道南～津軽の
鉄道沿線に17箇所。鉄道を使っての古の
遺跡群へ。

